



1日あたり
推奨
80杯



上質なコーヒーを淹れる、
コンパクトなデザインのコーヒーマシン。



WMF 1100 S

DESIGNED TO PERFORM

wmf.com



直感的に操作できるタッチ式インターフェース

7インチのカラータッチパネルには直感的に操作できる縦スワイプ式機能を搭載しており、簡単にメニューを選べます。画面のカラーやボタンのレイアウトをカスタマイズしてお好みに設定可能です。



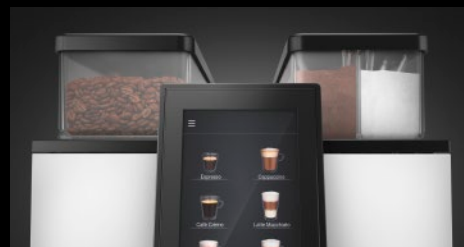
最大2基のコーヒーグラインダー

WMF 1100 Sには最大2台の特殊な分離式コーヒーグラインダーが装備されており、2種類のコーヒー豆を提供できます。また、大きな音を立てずに淹れられるので、オフィスや会議室での使用にぴったりです。



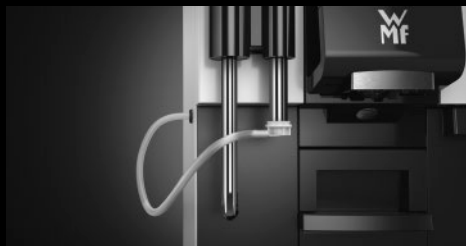
熱湯の注ぎ口

約95°Cの標準温度で熱湯を供給する注ぎ口を個別に設けており、タッチ操作だけで簡単に紅茶やその他の飲料を準備できるので、飲料メニューにオプションメニューを追加していただけます。



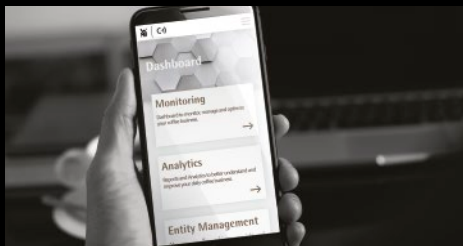
拡張可能な豆ホッパー/トッピングホッパー

非常に自由度高くカスタマイズしていただけるよう、豆ホッパーを、サイズの大きい1100gの拡張豆ホッパー、2200gのパウダーホッパー、あるいは1250gのツイントッピングホッパーに変更できるように設計されています。これを利用して、チョコレートパウダーやミルクパウダーといったトッピングも可能です。このように、同等クラスのコーヒーマシンではあまり見かけないオプションを特長としています。



Click+Cleanシステム

使いやすさが特徴のClick+Clean機能を使えば、ミルクシステムを簡単にクリーニングしていただけます。これにより、ミルクフォーマーの手作業洗浄も週1回で済むので負担が軽減されます。パネル画面にアニメーション動画を再生し、クリーニングプロセスをステップごとに分かりやすく説明するので操作の心配はありません。



WMF COFFEECONNECT

WMF CoffeeConnectでマシンと情報を送受信し、データを集集、分析、処理することができるので、処理の最適化、サービスコストの削減、売上高の向上を見込めます。



WMFアクセサリ機器

WMFのアクセサリ機器は、注文形式およびセルフサービス形式の両方の環境で、最適な飲料品質を実現し、毎日の作業負荷の軽減できるように設計されています。感じの良いカップウォーマーラック、ミルククーラー、移動式コーヒーステーションなど、幅広いオプションをお選びいただけます。

技術仕様

1日あたりの推奨平均供給量*	80杯
定格消費電力/電源接続	2.3 kW / 230 V
DIN 18873-2に準拠した1時間あたりの抽出量 エスプレッソ / 2エスプレッソ カフェクレーム / 2カフェクレーム カプチーノ	105 / 150杯 75 / 90杯 105杯
ホットミルク/ホットフォーム飲料	√
1時間あたりの給湯量	90杯
DIN 18873-2に準拠した1日あたりのエネルギー損失	0.76 kWh
コーヒー豆ホッパー容量	約550 g
チョコまたはトッピングホッパー容量 (オプション)	約450 g
外寸 (幅 / 高さ / 奥行)	325 / 500 / 561 mm
給水	ウォータータンク/水道直結式
空重量 (使用モデルによって異なります)	約25.5 kg
連続騒音レベル (LpA) **	70 dB(A) 未満

* 抽出量は水道水でマシンを使用した場合の数値であり、カップサイズ、品質設定、抽出口、モデルおよび定格消費電力によって異なります。1日あたりの最高推奨抽出容量は、カタログに記載のサービスクエストに基づいていますが、上記の平均値はあくまで目安とお考えください。熟練したWMFのチームが、お客様のニーズにぴったりのコーヒーマシン選びをお手伝いします。

** オペレーティングスタッフのワークステーションにおけるA特性騒音レベルLpA (slow) とLpA (impulse) は、どの動作モードでも70 dB (A) 未満です。5* dKH (硬度) を超える場合は、WMFの浄水フィルターを使用する必要があります。

以下のミルクシステムとスチームシステムに対応:

	スチームシステムなし	BASIC STEAM	AUTO STEAM
BASIC MILK	√	√	